

## 春物からスタートしたBHFもやっと一巡りしました。

夏物、秋物、冬物、展示会、現物、そしてバーゲンまでやつと一巡り。ゼロから壱を作り続ける一年でした。

レ・アールで皆様にお世話になりながら、営業部長をやらせてもらつて了一年より、ずっとと長い一年だったような気がします。

その分、いろいろな事を教えられ、学んだ一年でした。経済的には大変苦しいけど、それでも精神的には、当時より楽というのが本音です。

冬来たりなば、春遠からじ

### 一九九四 春物展

一月十八日(火)～二十一日(金)

小社にて開催します

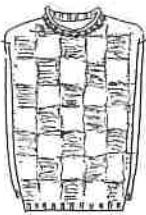
サマーセーターは弱いから、といって  
あせりと/orにはいかないでしょ。  
あんまり慎重になりすぎたら、お店まで暗くなってしまいますよ。  
不況を乗り切る、楽しい演出のための  
仕入れをしてください。

今回は綿、綿混、麻、ミックス素材で、  
軽快な色で、明るく楽しくがモットーで  
す。もちろんリーズナブルプライスです。

一巡を繕機に  
萬の実現に向かって

#### 春物展

#### best - 3



##### 6色展開

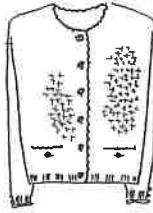
オフ、シャーベット、サックス、ピンク、グリーン、ブラック

##### 10ゲージ リンクス 市松柄

さわやかな色と、ロールネックがポイント  
小社のロングスタイルのベーシック商品、  
プライスも手頃で今回のベストセラーでした。

NO. 1187 C55%, AC45% 追加生産予定ありデス、

上代¥14,800



##### 6色展開

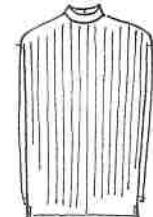
オフ、オレンジ、グリーン、サックス、ピンク、ネイビー

##### 10ゲージ かのこ編み

襟、前立てを手かぎり、ニットならではのカ  
カジュアル感が可愛く表現できました。バー  
ルとマーブルの鉢はチョイスできます。

NO. 1198 C50%, RY45%, S15%

上代¥22,800



##### 8色展開

オフ、イエロー、ピンク、サンドベージュ、  
モカ、ネイビー、ブラック、グリーン

##### 12ゲージ 線針・針抜き

コーディネートに最適の編み地とシックなス  
タイルが好評でした。スカートをプラスして  
も¥28,800でリーズナブルプライス

NO. 1192 AC55%, C20%, RY25%

上代¥16,800

最終は自分で機械を動かし、一枚一枚、丁  
寧に日本一、いや世界一のセーターを、今の  
半額ぐらいで作りたい。  
そしていろいろな、カシミアセーターのオー  
ダーも夢ではない。  
勉強開始!

\*\*\*\*\* 覚えておくと便利ニット豆辞典 \*\*\*\*\*

#### ジャージーのトレーナーを知らないアメリカ人



ジャージーのトレーナーは日本では  
ポビュラーですが、なんとアメリカでも  
イギリスでも通じないんです。  
自分の失敗で知ったのですが、これはス  
ウェット・シャツ(汗をかく時に着るシ  
ャツとでも言うんでしょうか)と言うん  
です。  
たぶん日本人の誰かが、トレーニング・  
ウェアなんかを短くして、トレーナー  
となったんだでしょう。てっきり英語だと  
思っていました。英語のようだから、通  
じないとよけい戸惑い、困ってしまいま  
す。こんな英語のような日本語は、作っ  
てほしくないです。

原宿から、けやき並木の原宿通りをずっと登つ  
てくると、246(青山通り)にぶつかります。  
「こ」が表参道の交差点ですが、そのまま通り抜  
けると、この通りだけ極端に狭くなります。

「こ」から根津美術館あたりまで、通りの両側に、  
デザイナーズブランドのブティックが並び、東京  
の中でもなかなかGOODなファッショントリ  
ードです。  
ショッピング等には丁度いい広さの通りではな  
いでしょ? か。

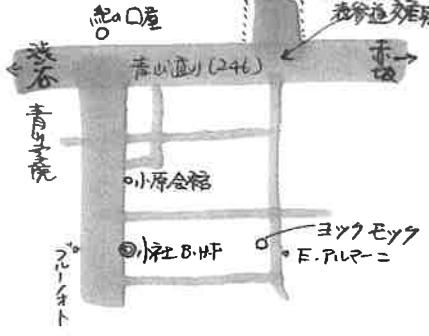
この通りの中ほどに、クッキーで有名なロッ  
クモーラーの本店があります。ちょっとヒ  
ンボリオ・アルマーニの前です。

緑のテラスのある喫茶店が、この通りの雰囲気  
造りにとっても貢献しています。  
クッキーといえば、東京では麹町の裏屋銀座  
の不二屋だった頃、シガール(葉巻から付けた名  
前だそうですが)という丸棒のサクサクしたクッ  
キーが一本ずつ袋に入れられてお目見えした時は、  
とっても高級で美味しい感じられ新鮮でした。

この頃からこの通りも変わりだしたようですが、  
この頃からこの通りも変わりだしたようです。

一九七八年に赤坂から移って来たそうですが、  
この頃からこの通りも変わりだしたようです。

この秋から、ニットの原点である手横  
のニットにこだわりたいと思います。  
素材は、何と言つてもカシミアに勝る  
物はない。自分で着っていても、結局は力  
シミアの手横セーターに落ち着いてしま  
います。



## 楽しく食事

「テーブルマナー—あれこれ



雰囲気のいいレストランでピカピカのシルバーやグラスがならび、気持ちのいいサービスで美味しい食事を頂く。

最高に幸せですね。でも日本人、特に女性の中にはテーブルマナーばかり気にしあげて、せっかくの美味しい食事も、あんまり良く味わえなかつたという人が案外多いんですね。

卒業前にテーブルマナーの実習をしてほしいということ、ホテルやレストランでのアルバイトがたびたび舞い込んできました。これから美味しい食事ができ、お金まで貢えるんですから、ホイホイと出掛けたものです。

自分一人で食事を頂くには、マナーはあんまり必要ではないわけですから、基本的に複数の人とお互いに美味しく、楽しく、スマースに食事するのに最も都合がいい、どうして確立されたのがテーブルマナーですから、これでなければいけないというのではありません。けつこう合理的に出来てるんですよ。一応これは知っている便利ところをいくつか。

まずはテーブルには、向かい合って座るのが一般的ですね。ですから向かい側の相手に刃を向けない、ナイフの方は自分のほうに向ける。これは、昔は本当の剣で肉を切りて食べていた時の名残で、洋の東西を問わないようです。



次に、サービスする人の仕方を知っていますと、とっても便利です。食べ物のサービスは座っている人の左側から、飲み物は右側からが原則です。だから飲み物は右手で飲んで、右側に置かないで、ウエイターの人はこります。

食べ物がサービスされる時、左の肩を少し開けてやったふり、ウエイターは大歓迎になります。

では、スープはどうから来るかといいますと、左です。そうですね、スープは食べるんです。英語でも「I HAVE SOUP」とい、決して「DRINK SOUP」とはいいません。

スープは音を立てないと咎めないと人がいますが、その人は考へ違いをしていると思います。飲もうとする、どうしても音が出ます。アイスクリームやチャーハンをパククリ食べる要領で食べたら、音がしないというよりは、音を立てることができません。試して見てください。

しかし歐米とは歴史や文化が違うですから、あんまり気にしあげて、肝心の食事が喉を通らなかつたらつましません。

テーブルマナーの目的は、皆で楽しく美味しくいただくことですから。

外国人が蕎麦やラーメンをスパゲッティみたいに箸にくるくる巻いて食べているのを見ても、オイオイとかアレーと思うぐらいで、あんまり不愉快には思いません。だいたい彼等には、食べ物を吸い込むという習慣がないのです。

するのに最も都合がいい、どうして確立されたのがテーブルマナーですから、これでなければいけないというのではありません。けつこう合理的に出来てるんですよ。一応これは知っている便利ところをいくつか。

## 茶のみ話

ニット屋になる前は海外旅行の添乗員でした

います。中でも一番長いのがセブンマイル・ブリッジ、その名の通り七マイル（十一日）も続く長い長い橋なのです。

なんだから、未知の世界へ向かって走っているようないきなります。東へ走っているのか分からなくなり、心細くなってしまいます。

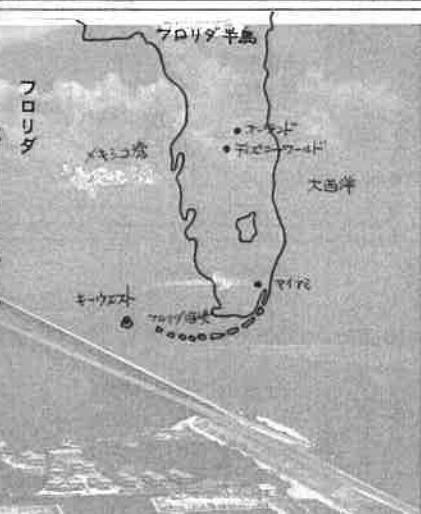
「とも、はじこやひっぺんなどといつて思はれ思はれ遠くへきたばくもほくんだ」などと、思わず歌い出したくなる気分です。

な講堂を覚えます。

旅愁を駆り立てるもので、武田鉄也じやないけれど思はれ思はれ遠くへきたばくもほくんだなどと、思わず歌い出したくなる気分です。

なんだから、未知の世界へ向かって走っているようないきなります。

「とも、はじこやひっぺんなどといつて思はれ思はれ遠くへきたばくもほくんだ」などと、思わず歌い出したくなる気分です。



## キーウエスト

思えば遠くへ来たもんだ

昔のキューバ航路の様  
橋に、ビアハウスという  
名のホテルがあります。

ビアとは横橋の意味。  
まさに横橋に建ったホテ

ルです。

「」は、メキシコ湾に沈む夕陽を眺める絶好

のポイントとして知られ、

白塗りのコロニースタイルのこのホテルは、プライベートゴーチも有り、すぐ近くがヨットハーバーで、環境も雰囲気も抜群です。特にレストランは海上にあり食事している下を小魚たちが泳ぎ回っています。



キーウエストへはマイアミから国道一号線を終点（起点？）まで南下します。

このルートは別名海上ハイウェイと呼ばれ、メキシコ湾に点々と浮かぶ島を、四十以上の橋で結んで

\*アメリカの国道番号は、奇数は南北、偶数は東西を表示するのでとても分かりやすい。

このルートは南はキーウエストから北はカナダが国の大統領として残っています。

たゞ、一泊しか出来なかったのが残念です。  
まだ、向かい合って座るのが一般的ですね。ですから向かい側の相手に刃を向けない、ナイフの方は自分のほうに向ける。これは、昔は本当の剣で肉を切りて食べていた時の名残で、洋の東西を問わないようです。

トンパンツとトシャツでランチをとりながら、大物釣りのトローリング船の出入りを見るのを見ていると、いまもパイプをくわえたヘミングウェイが出てきそうです。

う